

表 2-3 平成 29 年度 ホタル生息環境等調査 環境条件の調査結果一覧表

項目	調査地点名		上唐子 湿地A	上唐子 湿地B	新屋敷 上流水路	新屋敷 下流水路	東谷	神戸川	藤井沢沼	児沢	ゲンジボタルの 生息条件※ (参考値)
	採取日			H29.11.09	H29.11.09	H29.11.10	H29.11.10	H29.11.10	H29.11.10	H29.11.10	H29.11.10
採取時刻			15:00	15:05	13:20	13:15	15:30	10:45	08:55	07:10	
天候	前日	曇		曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	
	当日	晴		晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	
気温 (°C)			18.5	18.5	14.5	15.9	14.5	14.8	9.3	5.0	
水温 (°C)			17.1	15.8	12.3	12.6	12.8	12.2	9.5	9.1	2.0 ~ 28.0
湿度 (%)			35	35	65	52	63	54	94	81	
水深 (cm)			3	5	1~12	2~10	15~37	10~15	1~10	2~3	
水量			適	適	適	適	適	適	適	適	
外観			無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	
臭気			無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	
透視度 (度)			100.0 以上	92cm	100.0 以上	99cm	100.0 以上	100.0 以上	100.0 以上	100.0 以上	
水素イオン濃度 (pH)			6.8	7.1	6.7	6.6	7.1	7.8	7.5	7.8	6.5 ~ 8.3
化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)			0.8	1.8	2.6	2.5	2.3	3.9	4.8	3.0	0.5 ~ 3.4
アンモニウム態窒素 (mg/L)			0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.03 ~ 0.12
亜硝酸態窒素 (mg/L)			0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	—
硝酸態窒素 (mg/L)			6.9	5.7	0.64	0.69	0.54	0.25	0.09	0.74	0.43 ~ 0.45
リン酸態リン (mg/L)			0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.018	0.003未満	0.004	—
けい酸塩 (mg/L)			16	16	22	21	16	43	42	17	1.07 ~ 1.24
カルシウムイオン (Ca) (mg/L)			9.1	9.5	4.4	4.9	9.4	170	23	15	11.46 ~ 13.2
マグネシウムイオン (Mg) (mg/L)			7.5	7.1	1.8	2.6	5.0	45	8.9	5.0	2.5 ~ 3.2
備 考			落ち葉が多く、泥が多く堆積しており、全体的に水深が浅い。	落ち葉が多く、泥が多く堆積しており、全体的に水深が浅い。	砂泥、細かい礫の箇所が多い素掘りの水路となっている。	砂泥、細かい礫の箇所が多い素掘りの水路となっている。	流れは概ね安定しているが、鉄バクテリアによる水の変色が一部みられる。	2面張りで片側には土砂の堆積により陸部が形成されている。	全体的に流れは緩やかである。河床は砂泥や礫である。	堆積土砂はほとんどない。浮石もなく、水路脇に落葉がたまっている程度である。	

：ゲンジボタル生息条件(参考値)より高い値 (けい酸塩, Ca, Mgを除く)

※：東京のゲンジボタル生息3地域の水質
(けい酸塩については、東京の参考値：けい酸態珪素0.50~0.58mg/Lから算出)